4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
1 ― モンスーンに吹かれたように ― 大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術 ― Blows Like a Monsoon ― Contemporary Afro-Asian Arts on the Great Journey and Exchange			2 令和8年度岐阜県青少年美術展	3 うまれる。あふれだす。第7回ぎふ美術展		4 フランス近代絵画の祝宴		5 アートまるケット		6 夢は果てしなく ― 土屋禮一展	
A 加藤栄三・東一と岐阜県ゆかりの日本画家							O 日本とイタリア		P マックス・クリンガーと世紀末		
B 生誕150年北蓮蔵展				G えをみて えをかく展覧会					Q ルドンコレクションから：花と自然		
C 絵画セレクション				H クワクボリョウタ《LOST (Diversion)》		L NOA NOA ゴーギャンのアルカディア					
D ルドンコレクションから：物語と絵画				I ルドンコレクションから：黒のファンタジー			M 特集 鯉江良二：橋本コレクションを中心に				
	E 新収蔵の現代美術		F 信仰と日本の近現代美術		J ぎふの日本画 屏風―大画面にみる美の世界―		N 「それは何ごとか」佐藤慶次郎の実験 ※会期は予定				
						K ルドンコレクションから：ルドンと駒井哲郎					
アトリエ AiM Vol.19 さとうくみ子									アトリエ AiM Vol.20 加藤真史		

企画展

1 ― モンスーンに吹かれたように ― 大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術
― Blows Like a Monsoon ― Contemporary Afro-Asian Arts on the Great Journey and Exchange

2026年3月13日（金）－6月14日（日）

一般:1,000（900）円　大学生:800（700）円　高校生以下無料　展示室3

織田信長にはモザンビーク出身とされる弥助という家臣がいたように、季節風に乗りインド洋を越えたアフリカとアジアの交流が古くからありました。本展ではかつての交流の証とともに、アフリカ-アジアの現代作家を紹介します。出品作家:石川真生、エリアス・シメ、ワンゲシ・ムトゥ、吉國元、なみちえ、他

ワンゲシ・ムトゥ《あらゆるものを食らうはずに》（映像の部分）2013
Wangechi Mutu, *The End of eating Everything* (still of the film) 2013, Courtesy of the artist

2 令和8年度岐阜県青少年美術展
2026年7月4日（土）－7月12日（日）

無料　展示室3ほか

青少年への美術の普及のため、広く県内から作品を公募する展覧会です。青年部は絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の5部門、少年部は絵画・デザイン、書写の2部門の入賞作品及び入選作品を展示します。

3 うまれる。あふれだす。第7回ぎふ美術展
2026年8月8日（土）－8月23日（日）

無料　展示室3ほか

どなたでも応募できる公募展です。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、自由表現の7部門の入賞・入選作品を展示します。会期中には、各分野の第一線でご活躍されている審査員などによる作品講評会やトークイベントも開催します。

5 アートまるケット
2026年秋～冬（予定）

無料　展示室2（予定）

アートまるケット 2025 の様子

ARTMARKET

4 岐阜新聞創刊145周年記念 フランス近代絵画の祝宴
2026年9月26日（土）－12月13日（日）

有料　展示室3

20世紀、パリに集まった世界各地の芸術家たちは、互いに刺激し合いながら次々と新しい美術の潮流を開花させていきました。本展では、藤田嗣治やマルク・シャガール、パブロ・ピカソ等、フランス美術を代表する芸術家の作品を選りすぐり、作品がどのようにして生まれたか、制作へのまなざしに迫ります。

パブロ・ピカソ《女の横顔》1959年　岐阜県美術館蔵
© 2026 - Succession Pablo Picasso - BCF (JAPAN)

6 夢は果てしなく ― 土屋禮一展
2027年1月6日（水）－3月7日（日）

有料　展示室3

岐阜県養老町出身の土屋禮一（1946年生まれ）は、現代日本画を代表する作家の一人です。日展を舞台に活躍し、近年は天皇陛下の即位に際して《令和度　主基地方風俗歌屏風》を拝命・揮毫して話題を呼びました。本展では、初期作品から近作まで代表作を一堂に会して、日本画の可能性を追求し続ける土屋作品の魅力を探ります。

土屋禮一《桜樹》
2008年　岐阜県美術館蔵

所蔵品展

- **A** 2026年4月1日（水）－6月28日（日）　加藤栄三・東一と岐阜県ゆかりの日本画家
- **B** 2026年4月7日（火）－7月12日（日）　生誕150年北蓮蔵展
- **C** 2026年4月7日（火）－7月12日（日）　絵画セレクション
- **D** 2026年4月7日（火）－7月12日（日）　ルドンコレクションから：物語と絵画
- **E** 2026年5月1日（金）－6月28日（日）　新収蔵の現代美術
- **F** 2026年7月4日（土）－8月30日（日）　信仰と日本の近現代美術
- **G** 2026年7月23日（木）－11月8日（日）　えをみて えをかく展覧会
- **H** 2026年7月23日（木）－9月27日（日）　クワクボリョウタ《LOST (Diversion)》
- **I** 2026年7月23日（木）－9月27日（日）　ルドンコレクションから：黒のファンタジー
- **J** 2026年9月8日（火）－11月3日（火・祝）　ぎふの日本画 屏風 ―大画面にみる美の世界―
- **K** 2026年9月29日（火）－12月20日（日）　ルドンコレクションから：ルドンと駒井哲郎
- **L** 2026年10月1日（木）－12月20日（日）　NOA NOA ゴーギャンのアルカディア
- **M** 2026年11月10日（火）－2027年3月14日（日）　特集 鯉江良二：橋本コレクションを中心に
- **N** 2026年11月10日（火）－12月20日（日）（予定）　「それは何ごとか」佐藤慶次郎の実験
- **O** 2026年11月17日（火）－2027年2月14日（日）　日本とイタリア
- **P** 2027年1月5日（火）－3月14日（日）　マックス・クリンガーと世紀末
- **Q** 2027年1月5日（火）－3月14日（日）　ルドンコレクションから：花と自然

オディロン・ルドン《野の花の花瓶》1900-05年頃
岐阜県美術館蔵（田口コレクション）

アトリエ　閲覧無料　アーティストイン・ミュージアム AiM

Vol.19 さとうくみ子
2026年4月9日（木）－5月24日（日）

可児市出身の作家が遊ぶようにつくりながら得られる閃きを核に、ユニークな作品を生みだします。段ボールなど、身の周りにあるモノの魅力が最大限に引き出された作品をお楽しみください。

さとうくみ子《一周まわる（1号、2号、3号、4号、5号）》
2024年油彩 作家蔵 写真撮影：木奥惠三

Vol.20 加藤真史
2027年1月21日（木）－3月7日（日）

フィールドワークを重ねて調査してきた関東の養蚕業を、岐阜の蚕糸業と土地の歴史に接続させ、社会学（都市論、郊外論）、民俗学、地理などと結んで、絵画やインスタレーションを発表します。

加藤真史《八王子ヴェセル（養蚕信仰地）》
2025年 作家蔵

利用案内

ナンヤローネステーション

開館時間
10:00－18:00

※下記（第3金曜日）は20:00まで夜間開館
2026年4月17日、5月15日、10月16日、11月20日、
2027年1月15日、2月19日
※展示室への入場は閉館30分前まで

休館日
- ●月曜日（祝・休日の場合はその翌平日）
- ●年末年始　2026年12月21日［月］－2027年1月4日［月］
- ●臨時休館　2026年　7月13日［月］－7月22日［水］
  2027年　3月15日［月］－

観覧料

所蔵品展	一　般	370（310）円
	大学生	240（180）円

※（　）内は20名以上の団体料金

企 画 展　内面をご確認ください。

※無料開放日:11月3日［火・祝］
「岐阜～ふるさとを学ぶ日」

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費（指定難病）受給者証または登録者証の交付を受けている方とその付き添いの方（1名まで）は無料で観覧できます。展示室改札にて手帳をご提示ください。
＊ミライロIDが利用できます。

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU
〒500-8368
岐阜市宇佐4-1-22
TEL 058-271-1313
FAX 058-271-1315
https://kenbi.pref.gifu.lg.jp

諸事情により記載内容を変更する場合がございます。最新情報は当館Webサイトをご覧ください。

©宇佐江みつこ／ミュージアムの女